

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2004-013350

(43)Date of publication of application : 15.01.2004

(51)Int.Cl.

G06F 3/12
 B41J 29/38
 H04N 5/225
 H04N 5/76
 H04N 5/91

(21)Application number : 2002-163433

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 04.06.2002

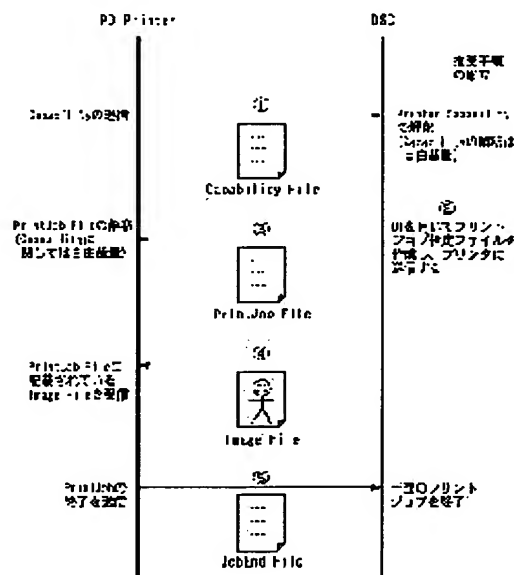
(72)Inventor : GOTOU FUMIHIRO
 YANO KENTARO
 YAMADA KENKI
 AICHI TAKAO
 TANAKA TATSUYA
 SAKAMOTO KAZUYA

(54) RECORDING SYSTEM, RECORDING CONTROL METHOD THEREOF, AND PHOTODIRECT PRINTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a recording system and a recording control method thereof, which can receive and record image data from imaging devices of respective companies by making transfer and recording indications for image data having no dependency on an interface, and to provide a photodirect printer.

SOLUTION: When image data are sent from a digital still camera (DSC) 3012 to a PD (photo direct) printer 1000 and recorded, the capability that the PR printer has is transmitted from the PD printer to the DSC together after a communication procedure by the PD printer and an application (NCDP: new camera direct print) mounted on the DSC is established; if the Capability includes an item that the DSC side does not understand, it is ignored and if there is an item from the DSC which can not be handled in a print job, the PD printer side performs recording while giving priority to a function that the PD printer has.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

28.09.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-13350

(P2004-13350A)

(43) 公開日 平成16年1月15日(2004.1.15)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
GO6F 3/12	GO6F 3/12	2C061
B41J 29/38	B41J 29/38	5B021
H04N 5/225	H04N 5/225	5C022
H04N 5/76	H04N 5/76	5C052
H04N 5/91	H04N 5/91	5C053

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号	特願2002-163433 (P2002-163433)	(71) 出願人	000001007 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
(22) 出願日	平成14年6月4日(2002.6.4)	(74) 代理人	100076428 弁理士 大塚 康徳
		(74) 代理人	100112508 弁理士 高柳 司郎
		(74) 代理人	100115071 弁理士 大塚 康弘
		(74) 代理人	100116894 弁理士 木村 秀二
		(72) 発明者	後藤 史博 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ ヤノン株式会社内

最終頁に続く

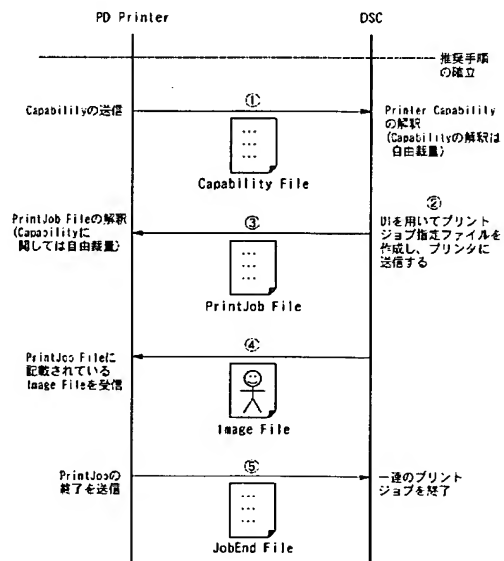
(54) 【発明の名称】 記録システム及びその記録制御方法とフォトダイレクト印刷装置

(57) 【要約】

【課題】 各メーカーとのデジタルカメラに対応できるフォトダイレクトプリンタでは、フォトダイレクトプリンタカメラに対して与えられる機能情報を理解できず、そのプリンタ装置の有していない機能を用いた印刷指示が与えられる可能性がある。

【解決手段】 デジタルカメラ(DSC)3012からPDプリンタ装置1000に画像データを送信して記録する際、PDプリンタ装置とDSCに実装されたアプリケーション(NCDP)による通信手順の確立後、PDプリンタ装置からDSCに、そのPDプリンタ装置が有しているCapabilityを纏めて送信するが、そのCapabilityにDSC側で理解できない事項があればそれを無視し、PDプリンタ装置側でも、そのDSCからのプリントジョブで実行できないものがあれば、PDプリンタ装置の有する機能を優先させて記録する。

【選択図】 図25



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像装置と記録装置とを汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置から前記記録装置に画像データを送信して記録する記録システムであって、

前記記録装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前記記録装置から前記撮像装置に前記記録装置が有している機能情報を纏めて送信する送信手段と、

前記送信手段により送信された前記機能情報に前記撮像装置で判別不能な情報が含まれている場合、前記撮像装置において当該情報を無視する情報無視手段と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を前記記録装置で処理する際、前記記録装置の記録機能と整合しない記録機能がある場合、当該記録装置の有している記録機能を優先させて処理するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする記録システム。

10

【請求項 2】

前記機能情報は、前記記録装置の Capabilities を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の記録システム。

【請求項 3】

前記機能情報はスクリプトで記述されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記録システム。

【請求項 4】

前記汎用インターフェースは USB であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録システム。

20

【請求項 5】

前記撮像装置はデジタルカメラであり、前記記録装置はプリンタ装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の記録システム。

【請求項 6】

撮像装置と記録装置とを汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置から前記記録装置に画像データを送信して記録する記録システムの記録制御方法であって、

前記記録装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前記記録装置から前記撮像装置に前記記録装置が有している機能情報を纏めて送信する送信工程と、

30

前記送信工程で送信された前記機能情報に前記撮像装置で判別不能な情報が含まれている場合、前記撮像装置において当該情報を無視する情報無視工程と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を前記記録装置で処理する際、前記記録装置の記録機能と整合しない記録機能がある場合、当該記録装置の有している記録機能を優先させて処理するように制御する工程と、

を有することを特徴とする記録制御方法。

【請求項 7】

前記機能情報は、前記記録装置の Capabilities を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の記録制御方法。

40

【請求項 8】

前記機能情報はスクリプトで記述されていることを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の記録制御方法。

【請求項 9】

撮像装置と汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置からの画像データを受信して印刷するフォトダイレクトプリンタ装置であって、

前記プリンタ装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前記撮像装置に前記プリンタ装置が有している機能情報を纏めて送信する送信手段と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を受信する受信手段と、前記受信手段で受信した前記記録情報に含まれる記録機能が、当該プリンタ装置の有して

50

いる記録機能と整合しているか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により整合していないと判定された前記記録機能よりも当該フリンタ装置の
有している記録機能を優先させて処理するように制御する制御手段と、
を有することを特徴とするフォトダイレクトフリンタ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタルカメラなどの撮像装置と記録装置とを有する記録システム及びその記録制御方法とフォトダイレクト印刷装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、簡単な操作で画像を撮影してデジタル画像データに変換できるデジタルカメラ（撮像装置）、所謂、デジカメが広く使用されるようになってきている。このようなカメラで撮影した画像を印刷して写真として使用する場合には、通常、一旦、その撮影されたデジタル画像データを、デジタルカメラからPC（コンピュータ）に取り込み、そのPCで画像処理を行った後、そのPCからカラーフリンタに出力して印刷するのが一般的である。

【0003】

これに対して最近では、PCを介することなく、直接、デジタルカメラからカラーフリンタにデジタル画像データを伝送して印刷することが可能なカラーフリンタシステムや、デジタルカメラに搭載され、撮像した画像を記憶しているメモ리카ードを、直接、カラーフリンタに装着し、そのメモ리카ードに記憶されている、撮影された画像を印刷できる、所謂フォトダイレクト（PD）フリンタ等も開発されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

特に、デジタルカメラから直接フリンタに画像データを伝送して印刷する場合は、デジタルカメラは各メーカーごとにその仕様や操作方法などが異なっているため、各種メーカーのデジタルカメラに対応できるフォトダイレクトフリンタ装置の出現が望まれている。

【0005】

また、このような各メーカーごとのデジタルカメラに対応できるフォトダイレクトフリンタでは、フォトダイレクトフリンタカメラに対して与えられる機能情報を理解できず、そのフリンタ装置の有していない機能を用いた印刷指示が与えられる可能性がある。例えば、デジタルカメラから指示されたサイズ或いは種類の用紙と、実際にフリンタにセットされている用紙のサイズ或いは種類が異なる場合が発生する虞がある。そのような場合は、記録画像の形成に支障をきたすことが考えられる。

【0006】

本発明は上記従来例に鑑みてなされたもので、インターフェースに依存しない画像データの転送及び記録指示を行うことにより、各社の撮像装置からの画像データを受信して記録できる記録システム及びその記録制御方法とフォトダイレクト印刷装置を提供することを目的とする。

【0007】

また本発明の目的は、撮像装置から指示された記録条件が、記録装置が実際に有している条件と異なる場合に、当該記録装置の有している条件で記録することにより、記録条件の不整合による記録画像の劣化を防止した記録システム及びその記録制御方法とフォトダイレクト印刷装置を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明の記録システムは以下のような構成を備える。即ち、撮像装置と記録装置とを汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置から前記記録装置に画像データを送信して記録する記録システムであって、前記記録装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前

10

20

30

40

50

記記録装置から前記撮像装置に前記記録装置が有している機能情報を纏めて送信する送信手段と、

前記送信手段により送信された前記機能情報に前記撮像装置で判別不能な情報が含まれている場合、前記撮像装置において当該情報を無視する情報無視手段と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を前記記録装置で処理する際、前記記録装置の記録機能と整合しない記録機能がある場合、当該記録装置の有している記録機能を優先させて処理するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【0009】

上記目的を達成するために本発明の記録制御方法は以下のような工程を備える。即ち、撮像装置と記録装置とを汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置から前記記録装置に画像データを送信して記録する記録システムの記録制御方法であって、前記記録装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前記記録装置から前記撮像装置に前記記録装置が有している機能情報を纏めて送信する送信工程と、

前記送信工程で送信された前記機能情報に前記撮像装置で判別不能な情報が含まれている場合、前記撮像装置において当該情報を無視する情報無視工程と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を前記記録装置で処理する際、前記記録装置の記録機能と整合しない記録機能がある場合、当該記録装置の有している記録機能を優先させて処理するように制御する工程と、を有することを特徴とする。

【0010】

上記目的を達成するために本発明のフォトダイレクトプリンタ装置は以下のような構成を備える。即ち、

撮像装置と汎用インターフェースを介して直接接続し、前記撮像装置からの画像データを受信して印刷するフォトダイレクトプリンタ装置であって、

前記プリンタ装置と前記撮像装置に実装されたアプリケーションによる通信手順の確立後、前記撮像装置に前記プリンタ装置が有している機能情報を纏めて送信する送信手段と、

前記機能情報に基づいて前記撮像装置で作成された記録情報を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した前記記録情報に含まれる記録機能が、当該プリンタ装置の有している記録機能と整合しているか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により整合していないと判定された前記記録機能よりも当該プリンタ装置の有している記録機能を優先させて処理するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して本発明の好適な実施の形態を詳細に説明する。

【0012】

図1は、本発明の実施の形態に係るフォトダイレクトプリンタ装置（以下、PDプリンタ装置）1000の概観斜視図である。このPDプリンタ装置1000は、ホストコンピュータ（PC）からデータを受信して印刷する通常のPCプリンタとしての機能と、メモリカードなどの記憶媒体に記憶されている画像データを直接読取って印刷したり、或いはデジタルカメラからの画像データを受信して印刷する機能を備えている。

【0013】

図1において、本実施の形態に係るPDプリンタ装置1000の外殻をなす本体は、ケースM1001、上ケース1002、アクセスカバー1003及び排出トレイ1004の外装部材を有している。また、下ケース1001は、PDプリンタ装置1000の略下半部を、上ケース1002は本体の略上半部をそれぞれ形成しており、両ケースの組合せによって内部に後述の各機構を収納する収納空間を有する中空体構造をなし、その上面部及び前面部にはそれぞれ開口部が形成されている。さらに、排出トレイ1004は、その一端部が下ケース1001に回転自在に保持され、その回転によって下ケース1001の前面

10

20

30

40

50

部に形成される開口部を開閉させ得るようになっていいる。このため、記録動作を実行させる際には、排出トレイ1004を前面側へと回転させて開口部を開成させることにより、ここから記録シートが排出可能となると共に、排出された記録シートを順次積載し得るようになっていいる。また、排紙トレイ1004には、2枚の補助トレイ1004a、1004bが収納されており、必要に応じて各トレイを手前に引き出すことにより、用紙の支持面積を3段階に拡大、縮小させ得るようになっていいる。

【0014】

アクセスカバー1003は、その一端部が上ケース1002に回転自在に保持され、上面に形成される開口部を開閉し得るようになっており、このアクセスカバー1003を開くことによって本体内部に収納されている記録ヘッドカートリッジ（不図示）あるいはインクタンク（不図示）等の交換が可能となる。なお、ここでは特に図示しないが、アクセスカバー1003を開閉させると、その裏面に形成された突起がカバー開閉レバーを回転させるようになっており、そのレバーの回転位置をマイクロスイッチなどで検出することにより、アクセスカバーの開閉状態を検出し得るようになっていいる。

【0015】

また、上ケース1002の上面には、電源キー1005が押下可能に設けられていいる。また、上ケース1002の右側には、液晶表示部1006や各種キースイッチ等を備える操作パネル1010が設けられていいる。この操作パネル1010の構造は、図2を参照して詳しく後述する。1007は自動給送部で、記録シートを装置本体内部へと自動的に給送する。1008は紙間選抜レバーで、プリントヘッドと記録シートとの間隔を調整するためのレバーである。1009はカードスロットで、ここにメモリカードを装着可能なアダプタが挿入され、このアダプタを介してメモリカードに記憶されている画像データを直接取り込んで印刷することができ、このメモリカード（PC）としては、例えばコンパクトフラッシュ（登録商標）メモリ、スマートメディア、メモリスティック等がある。1011はビューワ（液晶表示部）で、このPDフリンタ装置1000の本体に着脱可能であり、PCカードに記憶されている画像の中からプリントしたい画像を検索する場合などに、1コマ毎の画像やインデックス画像などを表示するのに使用される。1012は後述するデジタルカメラを接続するためのUSB端子である。また、このPD装置1000の後面には、パーソナルコンピュータ（PC）を接続するためのUSBコネクタが設けられていいる。

【0016】

図2は、本実施の形態に係るPDフリンタ装置1000の操作パネル1010の概観図である。

【0017】

図において、液晶表示部1006には、その左右に印刷されている項目に関するデータを各種設定するためのメニュー項目が表示される。ここに表示される項目としては、例えば、印刷したい範囲の先頭写真番号、指定コマ番号（開始コマ指定／印刷コマ指定）、印刷を終了した範囲の最後の写真番号（終了）、印刷部数（部数）、印刷に使用する用紙（記録シート）の種類（用紙種類）、1枚の用紙に印刷する写真の枚数設定（レイアウト）、印刷の品位の指定（品位）、撮影した日付を印刷するかどうかの指定（日付印刷）、写真を補正して印刷するかどうかの指定（画像補正）、印刷に必要な用紙枚数の表示（用紙枚数）等がある。これら各項目は、カーソルキー2001を用いて選択、或いは指定される。2002はモードキーで、このキーを押下する毎に、印刷の種類（インデックス印刷、全コマ印刷、1コマ印刷等）を切り替えることができ、これに応じてLED2003の対応するLEDが点灯される。2004はメンテナンスキーで、プリントヘッドのクリーニング等、フリンタのメンテナンスを行わせるためのキーである。2005は印刷開始キーで、印刷の開始を指示する時、或いはメンテナンスの設定を確立する際に押下される。2006は印刷中止キーで、印刷を中止させる時や、メンテナンスの中止を指示する際に押下される。

【0018】

10

20

30

40

50

次に図 3 を参照して、本実施の形態に係る P D フリント装置 1 0 0 0 の制御に係る主要部の構成を説明する。尚、この図 3 において、前述の図面と共通する部分は同じ記号を付与して、それらの説明を省略する。

【 0 0 1 9 】

図 3 において、3 0 0 0 は制御部（制御基板）を示している。3 0 0 1 は A S I C（専用カスタム L S I）を示し、その構成は図 4 のブロック図を参照して詳しく後述する。3 0 0 2 は D S P（デジタル信号処理プロセッサ）で、内部に C P U を有し、後述する各種制御処理及び、輝度信号（R G B）から濃度信号（C M Y K）への変換、スケーリング、ガンマ変換、誤差拡散等の画像処理等を担当している。3 0 0 3 はメモリで、D S P 3 0 0 2 の C P U の制御プログラムを記憶するプログラムメモリ 3 0 0 3 a、及び実行時のプログラムを記憶する R A M エリア、画像データなどを記憶するワークメモリとして機能するメモリエリアを有している。3 0 0 4 はフリントエンジンで、ここでは、複数色のカラーインクを用いてカラー画像を印刷するインクジェットフリントのフリントエンジンが搭載されている。3 0 0 5 はデジタルカメラ（D S C）3 0 1 2 を接続するためのポートとしての U S B コネクタである。3 0 0 6 はビューフ 1 0 1 1 を接続するためのコネクタである。3 0 0 8 は U S B ハブ（U S B H U B）で、この P D フリント装置 1 0 0 0 が P C 3 0 1 0 からの画像データに基づいて印刷を行う際には、P C 3 0 1 0 からのデータをそのままスルーし、U S B 3 0 2 1 を介してフリントエンジン 3 0 0 4 に出力する。これにより、接続されている P C 3 0 1 0 は、フリントエンジン 3 0 0 4 と直接、データや信号のやり取りを行って印刷を実行することが出来る（一般的な P C フリントとして機能する）。3 0 0 9 は電源コネクタで、電源 3 0 1 1 により、商用 A C から変換された直流電圧を入力している。P C 3 0 1 0 は一般的なパーソナルコンピュータ、3 0 1 1 は前述したメモリカード（P C カード）、3 0 1 2 はデジタルカメラ（D S C : D i g i t a l S t i l l C a m e r a）である。

【 0 0 2 0 】

尚、この制御部 3 0 0 0 とフリントエンジン 3 0 0 4 との間の信号のやり取りは、前述した U S B 3 0 2 1 又は I E E E 1 2 8 4 バス 3 0 2 2 を介して行われる。

【 0 0 2 1 】

図 4 は、A S I C 3 0 0 1 の構成を示すブロック図で、この図 4 においても、前述の図面と共通する部分は同じ記号を付与して、それらの説明を省略する。

【 0 0 2 2 】

4 0 0 1 は P C カードインターフェース部で、装着された P C カード 3 0 1 1 に記憶されている画像データを読取ったり、或いは P C カード 3 0 1 1 へのデータの書き込み等を行う。4 0 0 2 は I E E E 1 2 8 4 インターフェース部で、フリントエンジン 3 0 0 4 との間のデータのやり取りを行う。この I E E E 1 2 8 4 インターフェース部 4 0 0 2 は、デジタルカメラ 3 0 1 2 或いは P C カード 3 0 1 1 に記憶されている画像データを印刷する場合に使用されるバスである。4 0 0 3 は U S B インターフェース部で、P C 3 0 1 0 との間でのデータのやり取りを行う。4 0 0 4 は U S B ホストインターフェース部で、デジタルカメラ 3 0 1 2 との間でのデータのやり取りを行う。4 0 0 5 は操作パネル・インターフェース部で、操作パネル 1 0 1 0 からの各種操作信号を入力したり、表示部 1 0 0 6 への表示データの出力などを行う。4 0 0 6 はビューフ・インターフェース部で、ビューフ 1 0 1 1 への画像データの表示を制御している。4 0 0 7 は各種スイッチや L E D 4 0 0 9 等との間のインターフェースを制御するインターフェース部である。4 0 0 8 は C P U インターフェース部で、D S P 3 0 0 2 との間でのデータのやり取りの制御を行っている。4 0 1 0 はこれら各部を接続する内部バス（A S I C バス）である。

【 0 0 2 3 】

以上の構成に基づく動作概要を以下に説明する。

【 0 0 2 4 】

<通常の P C フリントモード>

これは P C 3 0 1 0 から送られてくる印刷データに基づいて画像を印刷する印刷モードで

10

20

30

40

50

ある。

【0025】

このモードでは、PC3010からのデータがUSBコネクタ1013（図3）を介して入力されると、USBハブ3008、USB3021を介して直接プリントエンジン3004に送られ、PC3010からのデータに基づいて印刷が行われる。

【0026】

<PCカードからの直接プリントモード>

PCカード3011がカードスロット1009に装着或いは脱着されると割り込みが発生し、これによりDSP3002はPCカード3011が装着されたか或いは脱着（取り外された）されたかを検知できる。PCカード3011が装着されると、そのPCカード3011に記憶されている圧縮された（例えばJPEG圧縮）画像データを読み込んでメモリ3003に記憶する。次に操作パネル101を使用して、その格納した画像データの印刷が指示されると、圧縮された画像データを解凍してメモリ3003に格納し、RGB信号からYMC信号への変換、ガンマ補正、誤差拡散等を実行してプリントエンジン3004で印刷可能な記録データに変換し、IEEE1284インターフェース部4002を介してプリントエンジン3004に出力することにより印刷を行う。

【0027】

<カメラからの直接プリントモード>

図5は本実施の形態に係るPDプリンタ装置1000とデジタルカメラ3012とを接続した状態を示す図である。

【0028】

図において、ケーブル5000は、PDプリンタ装置1000のコネクタ1012と接続されるコネクタ5001と、デジタルカメラ3012の接続用コネクタ5003と接続するためのコネクタ5002とを備えており、また、デジタルカメラ3012は、内部のメモリに保存している画像データを、接続用コネクタ5003を介して出力可能に構成されている。なお、デジタルカメラ3012の構成としては、内部に記憶手段としてのメモリを備えるものや、取外し可能なメモリを装着するためのスロットを備えたものなど、種々の構成を採用することができる。このように、図5に示すケーブル5000を介してPDプリンタ装置1000とデジタルカメラ3012とを接続することにより、デジタルカメラ3012からの画像データを直接PDプリンタ装置1000で印刷することができる。

【0029】

ここで図5に示すように、PDプリンタ装置1000にデジタルカメラ3012が接続された場合は、操作パネル1010の表示部1006にはカメラマークのみが表示され、操作パネル1010における表示及び操作が無効になり、メニュー1011への表示も無効になる。従って、これ以降はデジタルカメラ3012でのキー操作及びデジタルカメラ3012の表示部（不図示）への画像表示のみが有効になるので、ユーザはそのデジタルカメラ3012を使用して印刷指定を行うことができる。

【0030】

本実施の形態では、複数のメーカーのデジタルカメラを接続してプリントすることができるPDプリンタ装置を提供することを目的とし、本実施の形態に係るPDプリンタ装置1000とデジタルカメラとを接続してプリントを行なう場合の通信規約について詳しく説明する。

【0031】

本実施の形態においては、PDプリンタ装置とデジタルカメラとの間の通信制御を汎用ファイル、汎用フォーマットを用いて行い、インターフェースに依存しないNCDP（New Camera Direct Print）を提案する。

【0032】

図6は、このNCDPの構成の一例を示す図である。

【0033】

図において、600はUSBによるインターフェース、601はブルーーツース（Blue

10

20

30

40

50

セクション)によるインターフェースを示している。602はNCDPによるシステムを構築する際に組込まれるアプリケーションレイヤを示している。603は既存のプロトコル及びインターフェースを実行するためのレイヤで、ここではPTP(Picture Transfer Protocol)、SCSI及びブルーーツースのBIP(Basic Image Profile)、USBインターフェース等が実装されている。本実施の形態に係るNCDPは、このようなプロトコルレイヤ等のアーキテクチャが実装されていて、その上にアプリケーションとして実装されることが前提である。ここではPDファリタ装置1000は、USBホスト、カメラ3012はUSBスレーブとして規定されており、図6に示すように、それぞれ同じNCDP構成となっている。

【0034】

図7は、本実施の形態に係るNCDPによる、PDファリタ装置1000とデジタルカメラ(DSC)3012との間での通信手順の流れを説明する図である。

【0035】

ここでは、図5に示すようにUSBケーブル5000によりPDファリタ装置1000とDSC3012とが接続されたことが検知されると、これら機器間での通信が可能になる。これにより、これら機器に実装されているアプリケーションが実行されてNCDPによる手順710への移行が開始される。702はNCDPの初期状態を示し、ここでは互いの機種がNCDPを実行可能かどうかを判断し、可能であればNCDPによる手順710に移行している。もしここで、DSC3012がNCDPを実装していない場合には、NCDPによる通信制御は実行されない。こうしてNCDPに移行した後、703で示すように、DSC3012から「基本手順」による画像データの転送/印刷が指示されると、DSC3012から画像ファイルをPDファリタ装置1000に転送して印刷する簡易印刷モードに移行する。また704で示すように、DSC3012から「推奨手順」による画像データの転送/印刷が指示されると、DSC3012とPDファリタ装置1000との間で各種ネゴシエーションを行ってその印刷条件等を決定した後、画像ファイルをDSC3012からPDファリタ装置1000に転送して印刷するより多彩な印刷モードに移行する。また705は「拡張手順」による指示がDSC3012によりなされると、例えばDPOF、XHTML-Print、SVG等の高度レイアウト機能、及び各社ベンダーユニークな仕様での印刷を行うモードが設定される。尚、この「拡張手順」による詳細仕様に関しては、DSCのメーカ各社個別の拡張仕様書で規定されるので、ここでは特に説明しない。尚、これら「基本手順」及び「推奨手順」による画像印刷に関しては、図9乃至図11を参照して後述する。

【0036】

図8は、本実施の形態に係るNCDPにおいてプリントを行うために規定したコマンドを説明する図である。

【0037】

図8において、「対応モード」はDSC3012から指示される、前述した「基本手順」、「推奨手順」及び「拡張手順」に対応している。「推奨手順」では全てのコマンドが使用できるのに対し、「基本手順」は簡易印刷モードであるため、NCDPへの移行及びその終了、「基本手順」、「推奨手順」及び「拡張手順」の各モードへの移行コマンド及びカメラ3012からの画像データの取得及びカメラ3012よりの印刷命令のみが使用可能である。尚、「拡張手順」では、NCDPへの移行及びその終了、「基本手順」、「推奨手順」及び「拡張手順」の各モードへの移行コマンドだけが用いられるように記載されているが、前述のように、各社の仕様に依りて他のコマンドが用いられても良いことはいうまでもない。

【0038】

以下、前述した「基本手順」及び「推奨手順」による画像印刷について説明する。

【0039】

図9は、「基本手順」による画像印刷を行う場合のNCDPの通信手順を説明する図である。この「基本手順」は、DSCからPDファリタ装置1000に対して1枚の画像フ

10

20

30

40

50

イルを転送して印刷するだけの簡易印刷モードであり、対応している画像フォーマットとしては、例えばVGAサイズ（640×480画素）のRGB画像、VGAサイズ（640×480画素）のJPEG画像とし、画像ファイルサイズとしては約1Mバイト以下としている。DSC3012はPDフリンタ装置1000がサポートしている画像フォーマットで送信する。この場合はエラーハンドリングは実行しない。

【0040】

まず900で、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対してNCDPへの移行を指示するコマンド（NCDPSet）を送信する。ここでDSC3012がNCDPを実装していればOKが返送される（901）。尚、このNCDPの確認手順を行う場合の一例としてPTPを用いた場合の具体例に関しては、図14を参照して詳しく後述する。

10

【0041】

こうして互いにNCDPが実装されていることが確認されると、PDフリンタ装置1000からモードに移行するように命令（ProcedureSet）がDSC3012に送信される（902）。これに対して903で、DSC3012から簡易印刷モードである「基本手順」が送られてくると、これ以降は「基本手順」による印刷モードに移行する。この場合は、DSC3012における操作により印刷したい画像が選択されて印刷が指示されると、印刷の開始を指示するコマンド（JobSet）がDSC3012からPDフリンタ装置1000に送られる（904）。これによりPDフリンタ装置1000は簡易印刷モードとなり、DSC3012に対してコマンド（GetImage）を送信してJPEG画像を要求する（905）。これによりDSC3012からJPEG画像がPDフリンタ装置1000に送信され（906）、PDフリンタ装置1000における印刷処理が開始される。こうして、指示された画像の印刷が終了すると印刷ジョブの終了を示すコマンド（JobEnd）がPDフリンタ装置1000からDSC3012に送信される（907）。これに対してDSC3012から肯定応答（OK）が返送されると（908）、この「基本手順」による印刷処理が完了する。尚、この「基本手順」でやり取りするかどうかに関しても、DSCとPDフリンタ装置の双方のCapabilityで決定される。

20

【0042】

図10は、「推奨手順」による画像印刷を行う場合のNCDPの通信手順を説明する図で、前述の図9と共通する手順には同じ番号を付して、その説明を省略する。この「推奨手順」では、PDフリンタ装置1000とDSC3012との間でのネゴシエーションを前提とした「より多彩な印刷」モードが設定でき、複数枚の写真印刷やレイアウト印刷が可能になる。また、エラーハンドリングも実行可能となる。

30

【0043】

図10において、図9の場合と同様に、互いにNCDPが実装されていることを確認した後、この場合では、DSC3012から「推奨手順」が指示される（910）。この後はこの「推奨手順」による手順が実行される。まず911で示すように、PDフリンタ装置1000は、自機の備えている機能及び用紙設定等を含む機能をCapability情報として全てDSC3012に伝える。このCapability情報は、スクリプト形式（テキスト）でDSC3012に送信される。

40

【0044】

このCapability情報の一例を図12に示す。

【0045】

図12に示すように、このCapability情報は、印刷可能な用紙の種類及びサイズ、印刷品位、画像データのフォーマット、日付印刷の有無、ファイル名印刷の有無、レイアウト、画像補正の有無、更にはオプションとして、各カメラメーカーの仕様に対応した機能の有無等の情報を含んでいる。

【0046】

このようにCapability情報をスクリプト表記とすることにより、他の通信プロ

50

トコルのアーキテクチャへの移植を簡単にし、このような機能情報のやり取りを、より標準化し易くしている。尚、このスクリプト表記はXML準拠であっても良い。

【0047】

このようなCαPαb i l i t y情報を受信したDSC3012のユーザは、そのPDフリンタ装置1000が備えている機能の内のいずれを使用して印刷を行うかを判定し、印刷したい画像を選択すると共に、その画像の印刷条件をそのPDフリンタ装置1000の有している機能の中から選択して決定する。こうして印刷したい画像及び印刷条件などが決定されて印刷開始が指示されるとプリント命令(Job Start)がPDフリンタ装置1000に送られる。これによりPDフリンタ装置1000から、その画像データを要求するコマンド(Get Image ×n)が発行され(912)、それに応答してDSC3012から、対応する画像データが、PDフリンタ装置1000が受信可能な画像フォーマット(Tiff, JPEG, RGBなど)で送信される(913)。ここで1枚の画像印刷に対して複数の画像データを送信できるようになっているのは、例えば2×2等のレイアウト印刷が指定されている場合は、1枚の用紙に対して4枚分の画像データを送信する必要があるためである。こうして、指示された画像の印刷が終了すると印刷ジョブの終了を示すコマンド(Job End)がPDフリンタ装置1000からDSC3012に送信される(907)。これに対してDSC3012から肯定応答(OK)が返送されると(908)、再び、この「推奨手順」による、次に画像の選択・印刷処理に移行する。

10

【0048】

図11は、前述の「推奨手順」による画像印刷を行う場合のNCDPの通信手順において、PDフリンタ装置1000でエラーが発生した場合の通信手順を説明する図で、前述の図10と共通する手順には同じ番号を付して、その説明を省略する。

20

【0049】

この例では、「推奨手順」での印刷処理の実行中に、PDフリンタ装置1000において給紙エラーが発生した場合の例を示している。この場合には914で、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対して給紙エラーを示すステータス情報(status)が送信される。これに対してDSC3012のユーザによる判断に基づいて、その印刷処理を継続するか(Job Continue)、中止するか(Job Abort)を示すコマンドがPDフリンタ装置1000に送信される(915)。これによりPDフリンタ装置1000では、中止の場合はその印刷処理を中止してプリントジョブの終了通知(Job End)を送信して印刷を中止する。或いは継続が指示された場合には、その給紙エラーの修復を待って、印刷処理を継続するように動作する。

30

【0050】

次に、前述した処理手順を図13のフローチャートを参照して説明する。

【0051】

図13は、図7に示す処理手順を説明するフローチャートである。

【0052】

まずステップS1で、デジタルカメラ(DSC)3012とPDフリンタ装置1000との間の通信を確立し(700)、ステップS2で、これら機器がNCDPを実装済みかどうかを判定し、実装済みであればNCDPに移行する。次にステップS3に進み、DSC3012からの手順指示を受信して、その指示された手順に移行する。ここで「基本手順」が指示された時はステップS4からステップS5に進み、「基本手順」による印刷処理を実行する。また「推奨手順」が指示された時はステップS6からステップS7に進み、前述した「推奨手順」による印刷処理を実行する。更に「拡張手順」が指示された時はステップS8からステップS9に進み、各ベンダーに応じた「拡張手順」による印刷処理を実行する。それ以外の場合はステップS10に進み、このPDフリンタ装置1000とDSC3012とによる独自のモードでの印刷を実行する。

40

【0053】

次に上述したNCDPにおける各種コマンド(図8)を、汎用のPTPを用いて実現した

50

(PTPによるラッパ)例を説明する。尚、本実施の形態では、PTPを用いたNCDPの場合で説明するが本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、他のインターフェース、他のクラス(CLASS)上でダイレクトプリントサービスAPIを実装しても良い。

【0054】

[NCDPStart]

図14は、NCDP手順の開始を指示する命令(NCDPStart)をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0055】

PDフリンタ装置1000とDSC3012とが物理的に接続された後、まず1400で、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対してGetDeviceInfoが送信され、DSC3012に対して、その保持しているオブジェクトに関する情報が要求される。これに対してDSC3012は、DeviceInfoDataSetにより、DSC3012に保持しているオブジェクトに関する情報をPDフリンタ装置1000に送信する。次に1402で、OpenSessionにより、DSC3012をリソースとして割り当て、必要に応じてデータオブジェクトにハンドルをアサインしたり、特別な初期化を行うための手順の開始要求が発行されてDSC3012から肯定応答(OK)が返送されるとPTPでの通信が開始される。次に1403で、DSC3012に対してスクリプト形式の全てのハンドルを要求する(SetObjectID: FFFFFFFF, Object Type: Script)と、これに対して1404で、DSC3012に保持されている全てのハンドルリストが返送される。次に1405、1406において、PDフリンタ装置1000からi番目のオブジェクトハンドルの情報を取得する。ここで、このオブジェクトに、DSC3012の識別を示すキーワード(例えば「山」)が含まれていると、次に1407において、PDフリンタ装置1000からオブジェクト情報の送信を指示して(SendObjectInfo)、それに対して肯定応答(OK)を受信すると、SendObjectにより、オブジェクト情報をPDフリンタ装置1000からDSC3012に対して送信する。ここで、このオブジェクトには、前述のキーワードに対する応答キーワード(合言葉)として例えば「川」が含まれている。

【0056】

このようにして、PDフリンタ装置1000とDSC3012の双方が互いに接続相手を認識できることになり、これ以降はNCDPによる手順(図7の710)に移行することができる。このようにファイルの受渡しができるトランスポートレイヤーであればキーワードの受渡しを確実に行うことができる。即ち、本実施の形態のNCDPにユニークなコマンド等を追加することなく、キーワードを交換することができる。尚、ここでキーワードとしては、上述の例に限定されるものではなく、同じキーワードであっても良い。またこのキーワードによるネゴシエーションを行う時間を短縮するために、スクリプト形式のハンドルの最初にこのキーワードを入れておくことにより、互いの機器を確認するのに要する時間を短縮できる。

【0057】

[ProceedureStart]

図15は、DSC3012からの、モードへの移行手順を指示する命令を受信して、そのモードに移行するための命令(ProceedureStart)をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0058】

ここではまず1501で、PDフリンタ装置1000がサポートしている手続「基本手順」、「推奨手順」、「拡張手順」をDSC3012に通知するためにSendObjectInfoにより、DSC3012に対して送信したいオブジェクト情報があることを伝える。これに対して肯定応答(OK)がDSC3012から送られてくると、1502でSendObjectによりオブジェクトを送信する旨をDSC3012に伝え、次の1503のObjectDataで、このPDフリンタ装置1000がサポートしている手

10

20

30

40

50

統に関する情報を送信する。次に1504で、DSC3012からPDフリンタ装置1000に対して、GetObject動作を起動したい（ファッシュモードに移行）旨を伝える。これにより1505で、PDフリンタ装置1000からオブジェクト情報に関する情報を受信する旨が伝えられると（GetObjectInfo）、1506で、ObjectInfo DataSetにより、その情報が返送され、次に1507で、そのオブジェクト情報を指定してオブジェクト情報そのものが要求されると、Object Data Setにより、DSC3012が使用する手続（「基本」、「推奨」、「拡張」等）をPDフリンタ装置1000に知らせる（1508）。

【0059】

これにより、DSC3012からPDフリンタ装置1000に対して、画像の印刷モードを指定することが出来る。

【0060】

[NCDPEnd]

図16は、本実施の形態に係るNCDPにおける通信制御手順を終了する命令（NCDPEnd）をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0061】

この手順では、1600において、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対して送信したいオブジェクト情報があることを伝え、ObjectDataにより、DSC3012に対してNCDPのモードから抜けることを通知する。これに対して肯定応答（OK）を受信すると、1601でCloseSessionを送信して、この通信を終了させる。これによりNCDPによる通信手順を終了する。

【0062】

[CapableInit]

図17は、本実施の形態に係るNCDPにおける、PDフリンタ装置1000の機能をDSC3012に通知するCapableInit命令における通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0063】

この手順では、1700において、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対して送信したいオブジェクト情報があることをSendObjectInfoにより伝える。そして1701で、SendObjectによりDSC3012に対してオブジェクト情報の伝送を伝え、続くObjectDataにより、PDフリンタ装置1000が有している機能をスクリプト（Script）形式（図12）でDSC3012に送信する。

【0064】

[GetImage]

図18は、本実施の形態に係るNCDPにおける、PDフリンタ装置1000がDSC3012に保持されている画像データ（JPEG画像）を取得する（GetImage）通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0065】

まず1800で、DSC3012が保持しているオブジェクトに関する情報を要求すると、1801で、そのオブジェクトに関する情報（Object Data Set）がDSC3012からPDフリンタ装置1000に送られる。次に、1802で、そのオブジェクトを指定して取得要求（GetObject）を発行すると、1803で、その要求された画像ファイル（Object Data Set）がDSC3012からPDフリンタ装置1000に対して送信される。この様にしてPDフリンタ装置1000は、DSC3012から所望の画像ファイルを取得することが出来る。

【0066】

[StatusSend]

図19は、本実施の形態に係るNCDPにおける、PDフリンタ装置1000からDSC3012に対してエラー状態などを通知する（StatusSend）通信手順をPTP

10

20

30

40

50

アーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0067】

まず1900で、PDフリント装置1000からDSC3012に対して送信したいオブジェクト情報がある旨をSendObjectInfoにより通知する。そして1901で、そのオブジェクト情報に関する情報セット(Object Data Set)をDSC3012に送信し、DSC3012からの肯定応答(OK)に対して、PDフリント装置1000におけるエラー等のステータス情報をSendObjectおよびObject Data Setにより送信する。

【0068】

[PageEnd]

図20は、本実施の形態に係るNCDPにおける、PDフリント装置1000からDSC3012に対して、1ページのプリント処理が終了したことを通知する(PageEnd)通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0069】

[JobEnd]

図21は、本実施の形態に係るNCDPにおける、PDフリント装置1000からDSC3012に対して、プリントジョブが終了したことを通知する(JobEnd)通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。図20、図21においては、図19の1900乃至1901の手順実行後、図20の1910で、PDフリント装置1000からDSC3012に対して1ページ印刷処理が終了したことが通知され、図21の1911では、PDフリント装置1000からDSC3012に対して印刷ジョブが終了したことが通知される。

【0070】

[JobStart]

図22は、本実施の形態に係るNCDPにおける、DSC3012からPDフリント装置1000に対して、プリントジョブの開始を通知する(JobStart)通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0071】

まず2200において、DSC3012からPDフリント装置1000に対してRequestObjectTransferを送り、PDフリント装置1000がGetObjectCommandを発行するように促す。これにより2201で、PDフリント装置1000からGetObjectInfoが発行されると、DSC3012は送信したいオブジェクト情報に関する情報を送信し、これに対してPDフリント装置1000からオブジェクト情報が要求されると(GetObject:2203)、2204で、Object Data Setを送信して、DSC3012からPDフリント装置1000に対して印刷命令を発行する。

【0072】

[JobAbort]

図23は、本実施の形態に係るNCDPにおける、DSC3012からPDフリント装置1000に対してプリント中止命令を発行する(JobAbort)通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0073】

[JobContinue]

図24は、本実施の形態に係るNCDPにおける、DSC3012からPDフリント装置1000に対してプリント再開命令を発行する(JobContinue)通信手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【0074】

図23及び図24において、図22の2200乃至2203の手順を実行した後、図23の2301で、DSC3012からPDフリント装置1000に対して印刷中止命令が発

10

20

30

40

50

行され、図24の2401では、DSC3012からPDフリンタ装置1000に対して印刷再開命令が通知される。

【0075】

〔CαPαb i l i センの自由裁量〕

次に本実施の形態に係る特徴部分であるPDフリンタ装置1000とDSC3012との間での通信手順と、PDフリンタ装置1000とDSC3012における処理について説明する。

【0076】

本実施の形態では、PDフリンタ装置1000に接続されるDSC3012は、各メーカーで製造された不特定のデジタルカメラが接続されることを前提としているため、例えばPDフリンタ装置1000からDSCに対して、そのPDフリンタ装置1000が有している全ての情報をCαPαb i l i センとしてDSCに送信しても、そのDSCは、そのCαPαb i l i センの内容を全て或いはある一部を理解できない可能性がある。その様な場合には、PDフリンタ装置1000が意図していない印刷条件が記述されたプリントジョブファイルがDSCから送られてくることがになり、このような場合に、そのプリントジョブファイルで指示された通りの印刷条件で印刷を行うと、その印刷された画像そのものが全く価値のないものとなる虞がある。そこで本実施の形態では、このような状態が発生し得る問題点を解決することを目的としている。

【0077】

図25は、図11に示す「推奨手順」におけるCαPαb i l i センのやり取りの手順を説明する図である。

【0078】

図において、▲1▼で、前述したようにPDフリンタ装置1000からDSC3012に対してCαPαb i l i センがスクリプト表記で送信される。DSC3012はこのCαPαb i l i センを解釈し、理解できない事項があればそれを無視する。次に▲2▼で、DSC3012のユーザは、このDSC3012のUIを使用して印刷したい画像ファイルや印刷条件（用紙種類、用紙サイズ、画像品位等）を指定する。これによりプリントジョブを指定するプリントジョブ形式のファイルを作成する。そして▲3▼で、そのプリントジョブを指定するプリントジョブファイルをDSC3012からPDフリンタ装置1000に送信する。これを受信したPDフリンタ装置1000は、そのプリントジョブファイルに記述されている内容を解析し、次に▲4▼で受信した画像ファイルを、そのプリントジョブファイルで指定された印刷条件で印刷する。こうして印刷が終了すると▲5▼において、プリントジョブが終了したことをDSC3012に通知する。

【0079】

尚、ここで、PDフリンタ装置1000にセットされている用紙サイズが「L判」であるのに対して、DSC3012から受信したプリントジョブファイルのCαPαb i l i センの用紙サイズに「A4判」が指定されていた場合、PDフリンタ装置1000におけるCαPαb i l i センにおける記載を自由裁量として判定する。即ち、その画像データをそのまま「A4判」サイズで「L判」の用紙に印刷しようとする、画像の一部しか印刷できないことになるため、PDフリンタ装置1000は、DSC3012からのCαPαb i l i センで記述されている用紙サイズに関する事項を無視し、実際にPDフリンタ装置1000に装着されている用紙サイズ（ここでは「L判」）を優先させて印刷する。これによりPDフリンタ装置1000は、その画像データを「L判」サイズに縮小して、その装着されている「L判」サイズの用紙に印刷する。

【0080】

これは例えば、印刷対象の用紙の種類（普通紙、特殊用紙等）に関しても同様で、DSC3012からのCαPαb i l i センで指示された種類の用紙が存在しない場合には、実際に装着されている用紙の種類を優先させる。これにより、その用紙の種類に適合した画像処理を行って、その用紙の種類に応じて最適な画像を印刷することができる。

【0081】

10

20

30

40

50

図 26 は、上述の「推奨手順」での処理手順における DSC3012 での処理を説明するフローチャートである。

【0082】

まずステップ S21 で、PD フリント装置 1000 から Capabilities を受信するとステップ S22 に進み、その Capabilities を解析する。ここで、理解できない事項があればそれを無視する。次にステップ S23 に進み、印刷指示画面 (UI) をカメラ 3012 の表示部に表示し、ステップ S24 で、その UI 画面を使用して、ユーザによる印刷指示が入力される。こうして印刷指示が入力されるとステップ S25 に進み、UI を使用して設定された印刷対象画像ファイル及び各種印刷条件などを記述したプリントジョブファイルを作成し、ステップ S26 で、そのプリントジョブファイルを PD フリント装置 1000 に送信する。続いてステップ S27 で、そのプリントジョブファイルに記述されている画像ファイルを PD フリント装置 1000 に送信する。

【0083】

図 27 は、上述の「推奨手順」での処理手順における PD フリント装置 1000 での処理を説明するフローチャートである。

【0084】

まずステップ S31 で、前述の図 26 のステップ S26、S27 で、DSC3012 から送信されたプリントジョブファイルを受信する。そしてステップ S32 に進み、そのプリントジョブファイルを解析する。これにより PD フリント装置 1000 は、印刷条件及び印刷する画像ファイルを特定する。そしてステップ S33 に進み、その指定された画像ファイルを受信する。次にステップ S34 に進み、そのプリントジョブファイルに理解できない事項があるかどうかを判定し、もし理解できない事項があればステップ S35 に進み、その事項を無視する。ステップ S34 で理解不能項目がない場合、或いはステップ S35 で、その項目を無視した後はステップ S36 に進み、プリントジョブファイルで記述された印刷条件が、その PD フリント装置 1000 における現在の印刷条件と異なるか否かを判定する。これは例えば、前述したように、プリントジョブファイルで指定された用紙サイズ或いは用紙タイプが、PD フリント装置 1000 に実際に装着されている用紙タイプ或いはサイズと異なるかどうか等を判定するものである。ここで異なる場合はステップ S37 に進み、そのプリントジョブファイルで指定された印刷条件を無視して、現時点で PD フリント装置 1000 により印刷可能な印刷条件を優先させ、ステップ S38 で、その印刷条件に基づいてプリントジョブファイルで指定された印刷を実行する。

【0085】

以上説明したようにして、例えば完全に Compatible を有していない PD フリント装置 1000 と DSC3012 との間でも、その時点で最適と判断される印刷条件で、DSC3012 からの画像を印刷することができる。

【0086】

なお本発明は、複数の機器（例えばホストコンピュータ、インターフェース機器、リーダ、プリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、一つの機器からなる装置（例えば、複写機、ファクシミリ装置など）に適用してもよい。

【0087】

また、本発明の目的は、前述した実施形態の機能（カメラ側で行われる処理、プリンタ側で行われる各種印刷処理）を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体（または記録媒体）を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（または CPU や MPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても達成される。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステム (OS) などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した

10

20

30

40

50

実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【0088】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張カードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張カードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【0089】

以上説明したように本実施の形態によれば、PDフリンタ装置をUSBホストにDSCをスレーブに設定し、印刷動作に入る前に、PDフリンタ装置が有しているCαPαb i l i センに関する情報をDSCに送信し、DSC側でそのCαPαb i l i セン情報に基づいて最適な印刷モードを決定して印刷を行わせることができる。

【0090】

またこのCαPαb i l i セン情報の送信をスクリプトにより行うことにより、他の通信プロトコルへの移植が容易になり、標準化し易くなる。

【0091】

また、デバイス間の通信手順は汎用ファイル、汎用フォーマットを用いて行い、その上位レイヤに、本実施の形態に係るアプリケーションの通信手順レイヤを規定することにより、各種インターフェース仕様に依存しない通信手順を規定することができる。

【0092】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、インターフェースに依存しない画像データの転送及び記録指示を行うことにより、各社の撮像装置からの画像データを受信して記録できる。

【0093】

また本発明によれば、撮像装置から指示された記録条件が、記録装置が実際に有している条件と異なる場合に、当該記録装置の有している条件で記録することにより、記録条件の不整合による記録画像の劣化を防止できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るPDフリンタ装置の概観斜視図である。

【図2】本実施の形態に係るPDフリンタ装置の操作パネルの概観図である。

【図3】本実施の形態に係るPDフリンタ装置の制御に係る主要部の構成を示すブロック図である。

【図4】本実施の形態に係るPDフリンタ装置のASICの構成を示すブロック図である。

【図5】本実施の形態に係るPDフリンタ装置とデジタルカメラとを接続した状態を示す図である。

【図6】本実施の形態に係るNCDPを実装したPDフリンタ装置とデジタルカメラのソフトウェア構成を説明する概念図である。

【図7】本実施の形態に係るNCDP通信手順の概要を説明する図である。

【図8】本実施の形態に係るNCDPにおけるコマンドを説明する図である。

【図9】本実施の形態に係るNCDPにおける「基本手順」による印刷手順を説明する図である。

【図10】本実施の形態に係るNCDPにおける「推奨手順」による印刷手順を説明する図である。

【図11】本実施の形態に係るNCDPにおける「推奨手順」におけるエラー発生時の印刷手順を説明する図である。

【図12】本実施の形態に係るNCDPで送信されるCαPαb i l i センの一例を説明する図である。

【図13】本実施の形態に係るNCDP通信手順の概要を説明するフローチャートである。

10

20

30

40

50

【図14】NCDP手順の開始を指示する命令(NCDPStart)をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図15】NCDP手順において、カメラから各手順への移行命令を受取る(ProcedureStart)手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図16】NCDP手順の終了を指示する命令(NCDPEnd)をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図17】NCDP手順においてPDフリント装置からカメラに対してCapabilityを送信する命令(Capability)をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

10

【図18】NCDP手順において、PDフリント装置からカメラに保持されている画像ファイルを取得する命令(GetImage)の手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図19】NCDP手順において、PDフリント装置からカメラに対してエラーを送信する命令(StatusSend)の手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図20】NCDP手順において、PDフリント装置からカメラに対して1ページの印刷終了を送信する命令(PageEnd)の手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図21】NCDP手順において、PDフリント装置からカメラに対して印刷ジョブの終了命令(JobEnd)を発行する手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

20

【図22】NCDP手順において、カメラからPDフリント装置に対して印刷命令の発行(JobStart)する手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図23】NCDP手順において、カメラからPDフリント装置に対して印刷の中止命令(JobAbort)を発行する手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

【図24】NCDP手順において、カメラからPDフリント装置に対して印刷再開命令(JobContinue)を発行する手順をPTPアーキテクチャを用いて実現した例を説明する図である。

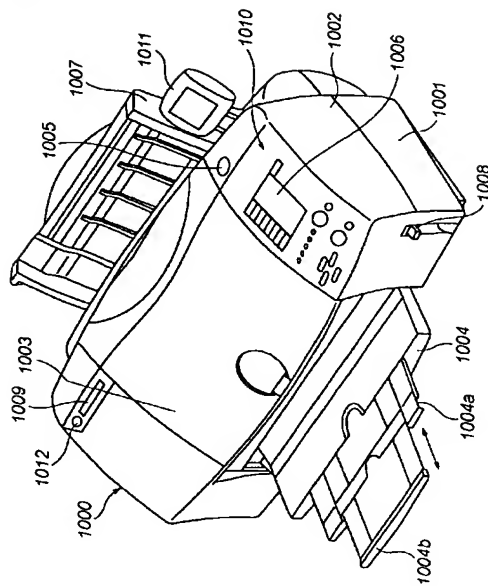
30

【図25】本実施の形態に係るDSCとPDフリント装置との間での「推奨手順」によるデータのやり取りを説明する図である。

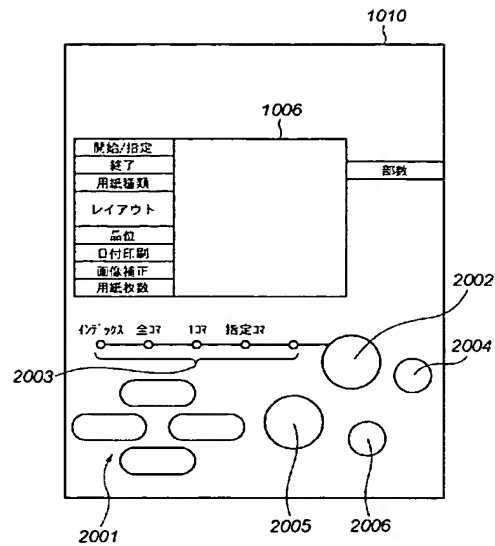
【図26】本実施の形態に係るDSCにおける「推奨手順」での印刷指示を説明するフローチャートである。

【図27】本実施の形態に係るPDフリント装置における「推奨手順」での印刷処理を説明するフローチャートである。

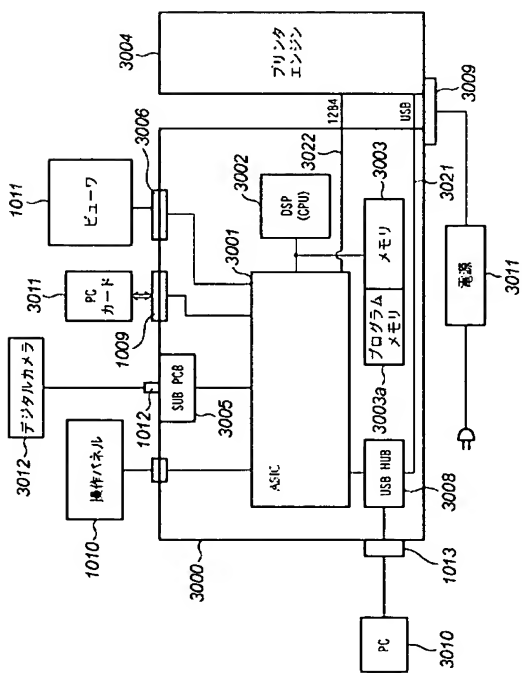
【図 1】



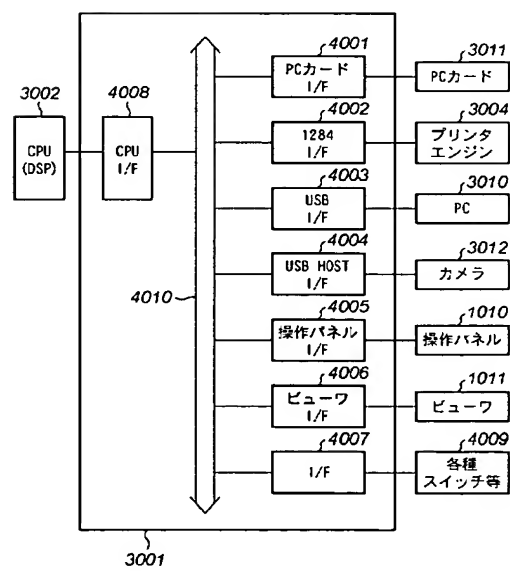
【図 2】



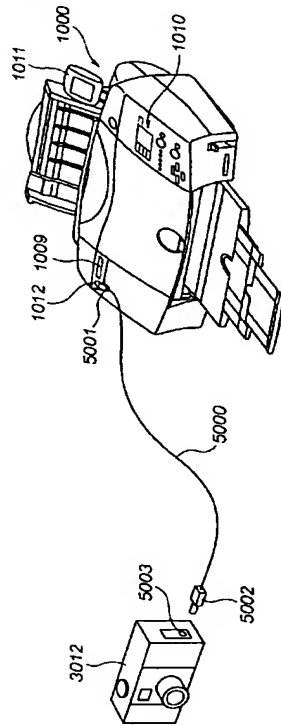
【図 3】



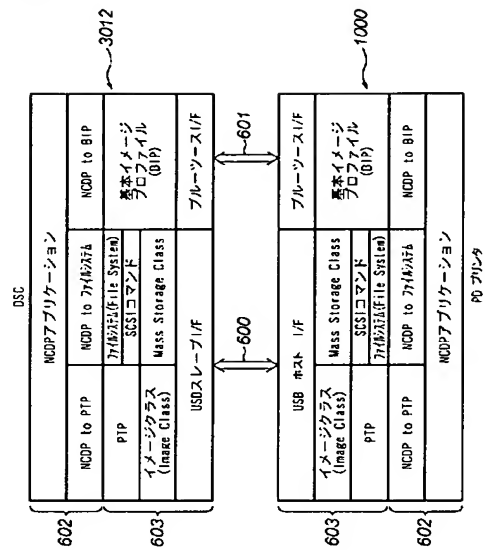
【図 4】



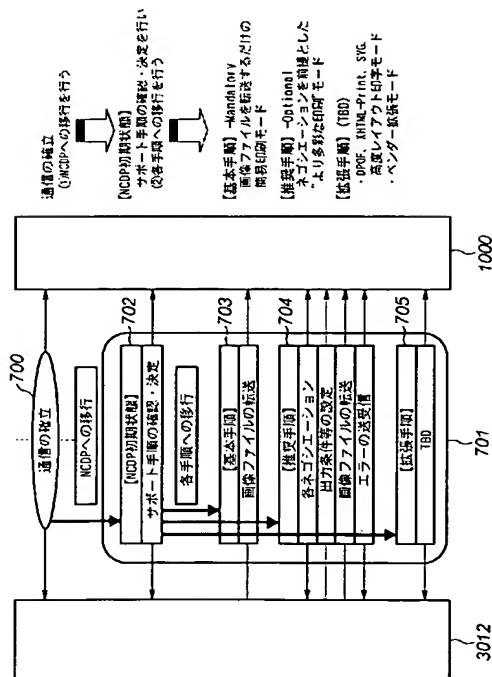
【 ㉕ 5 】



【 図 6 】



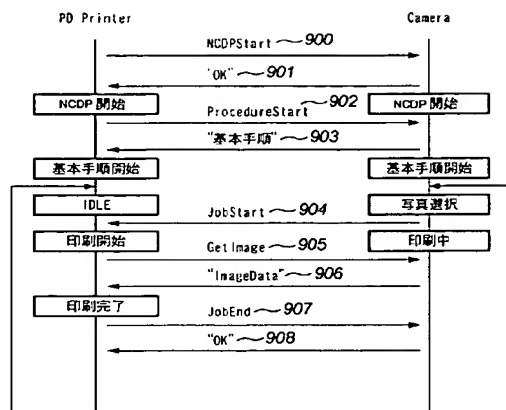
【 図 7 】



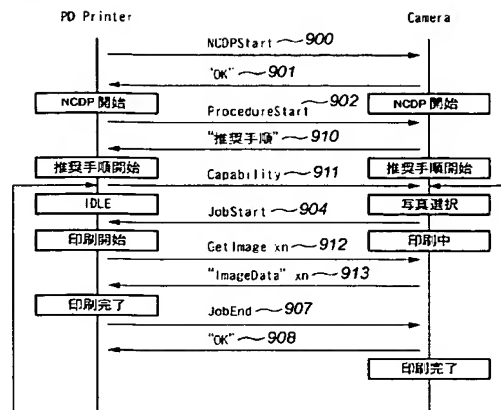
【 8 】

機能名	列挙モード	機能
実行元	基本・権限・拡張	
プリンタ	○ ○ ○	NKDへの移行
	○ ○ ○	各モードへの移行(個人、推定、私用)
	○ ○ ○	NKDからのターミネート
	○ ○ ○	プリント画面の通知(Need必要な場合)
	○ ○ ○	DSCからJob名のイテータの取得
	○ ○ ○	エラー状態を通知(Warning or fatal error)
	○ ○ ○	プリント開始の通知(ページ毎でも可能)
	○ ○ ○	プリント終了の通知(1ページ面でも可能)
	○ ○ ○	プリントジョブの終了通知
DSC	○ ○ ○	プリント命令
	○ ○ ○	プリント中止命令
	○ ○ ○	プリント中止警告

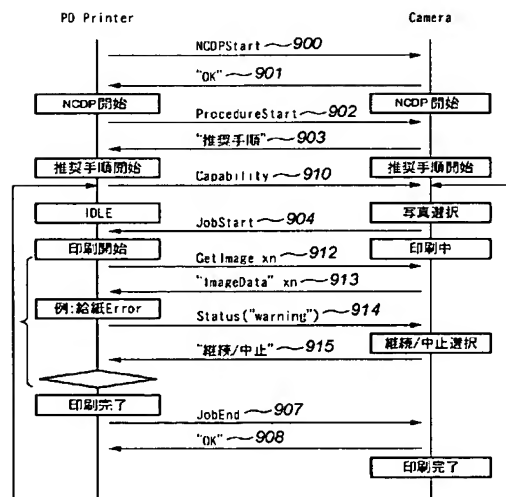
【図 9】



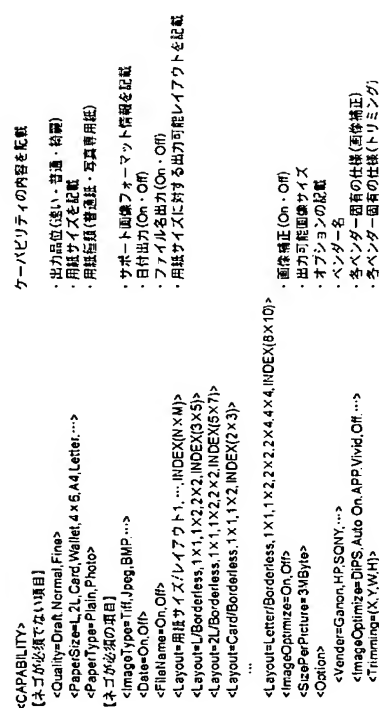
【図 10】



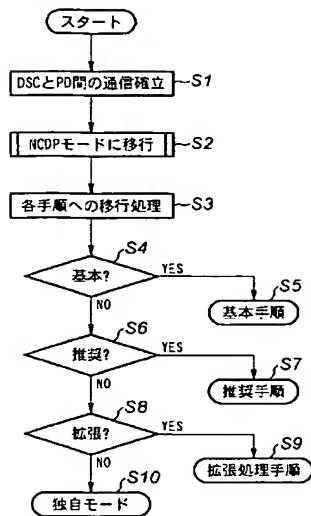
【図 11】



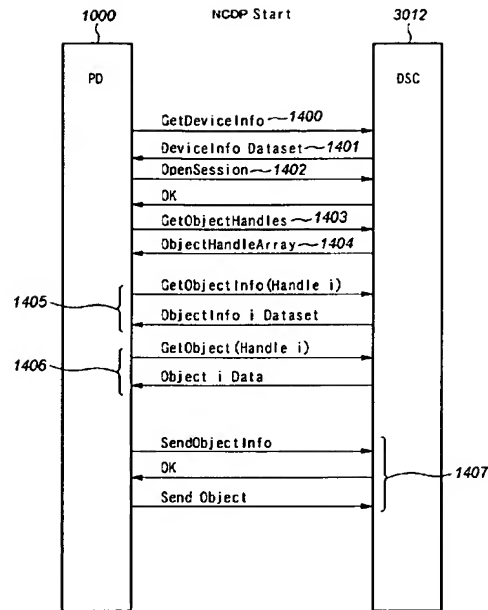
【図 12】



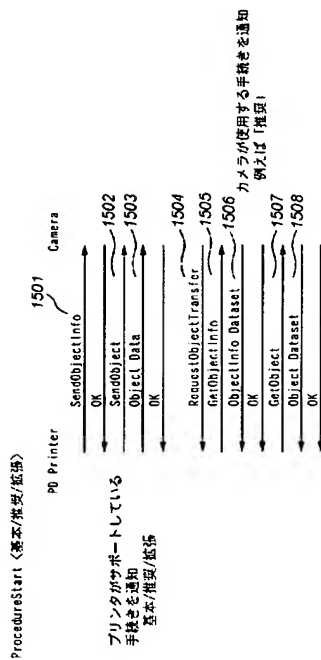
【図 13】



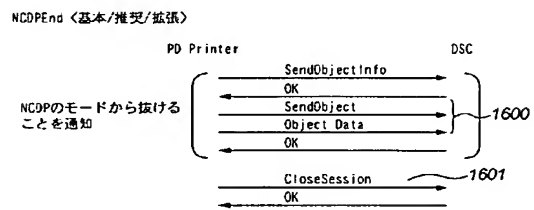
【図 14】



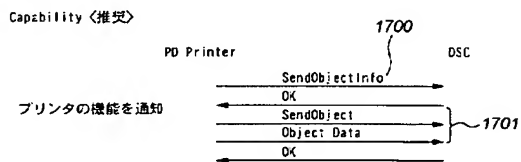
【図 15】



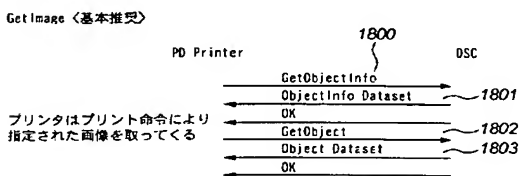
【図 16】



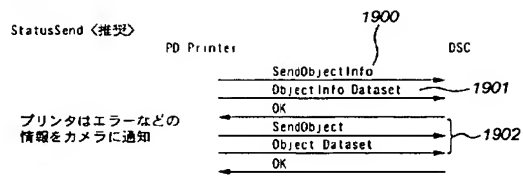
【図 17】



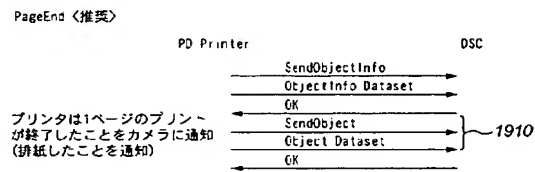
【図 18】



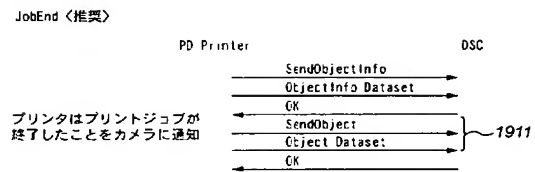
【図 19】



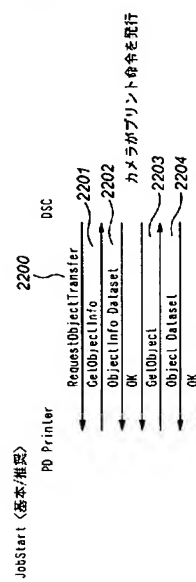
【図 20】



【図 21】



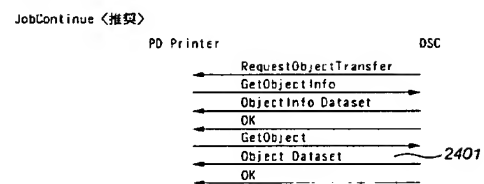
【図 22】



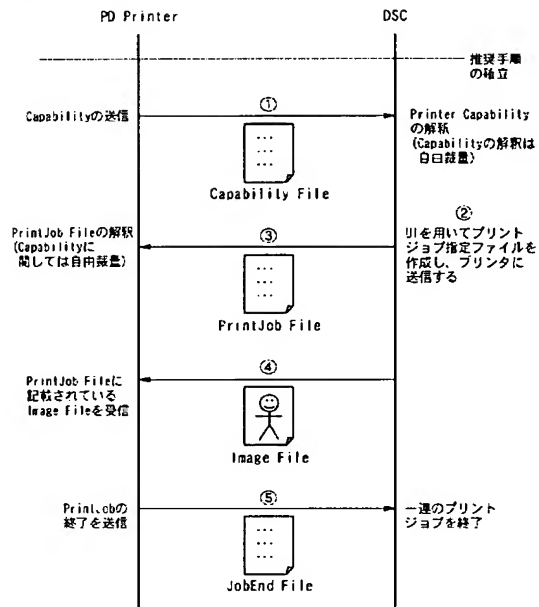
【図 23】



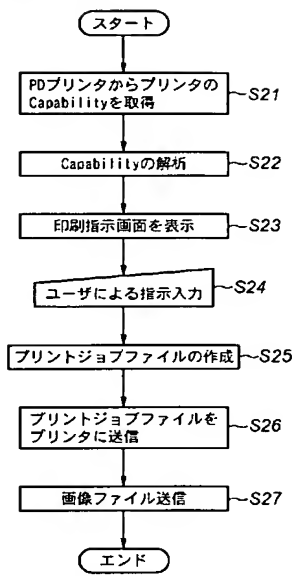
【図 24】



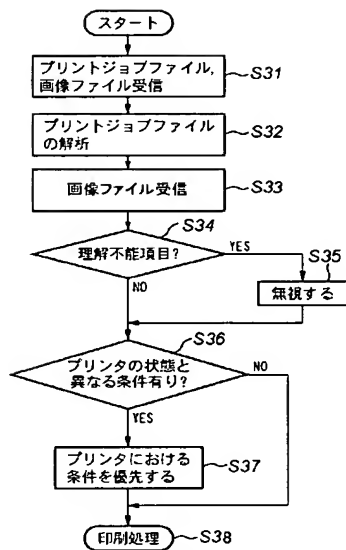
【図 25】



【図 26】



【図 27】



フロントページの続き

- (72)発明者 矢野 健太郎
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
- (72)発明者 山田顕季
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
- (72)発明者 愛知孝郎
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
- (72)発明者 田中達也
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
- (72)発明者 坂本和弥
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
- Fターム(参考) 2C061 AP03 AP04 AP06 AP10 HJ08 HN27 HP08 HQ20
5B021 AA30 BB05 DD17 DD18
5C022 AA11 AA13 AC42
5C052 AA12 AB02 DD02 EE02
5C053 FA04 FA07 LA01 LA03